



吉中 学ぶのスタンダード

	時間	生徒の学習活動	教師の働きかけ
導入	開始 1 分前	0 授業の準備をして、着席	0 1 分前には入室完了
	開始 時刻	1 さわやかな声で「始めの挨拶」 「あのうさぎ」の あ：相手を見て 「あのうさぎ」の の：伸ばした背筋	1 開始時刻と同時に「始めましょう」 ※ 前時の振り返りや帯学習的な活動を行う
展開	5 分 以内	2 課題の確認	2 学習課題 を貼り、課題を板書 ※ 導入で生徒の興味・関心をひくような事象を提示したり、既習事項との違いを確認したりして、生徒が課題意識を高められるよう工夫する。
	2 5 分 ～ 3 5 分	3 一人で課題を追究 ※ 既習事項を振り返り、見通しを立てる ※ 考えとその根拠をノート等を書く ※ 課題解決のために ICT 機器や新聞等を活用する ↓ 4 学び合いながら課題追究 小集団・全体での高め合い学習 ○ 伝える ・分かりやすく伝わるようにプレゼンテーションソフト等を用いて、考えをまとめる ・考えとその根拠を明確にして相手に伝える ↑ ○ 聴く 「あのうさぎ」の う：うなずきながら 「あのうさぎ」の さ：最後まで ・相手の考えとその根拠をしっかりと聴く ↑ ○ 話し合う 「あのうさぎ」の ぎ：疑問を感じて ・考えやその根拠の相違点に着目し、話し手は自分の意見が伝わるように話し、聞き手は相手の意図を考えながら聞く。 ・出てきた意見を分類しながら、互いの意見が納得できるようにする。	3 一人学び を貼り、個々に課題追究 ※ 学習課題や学習方法を選択できるようにする ※ 考える時間を確保する ↓ 4 学び合い を貼り、高め合い学習で課題追究（小集団学習・全体学習） ○ 教師は、生徒が課題解決に主体的に取り組めるように「見通しをもつ」、「考える」、「協働して活動する」等の活動の場の工夫していく。 ＜教師の働きかけの視点＞ ◆ 活動の目的や個の能力に応じた指導を心がける ・生徒の学びが深まるように ICT 機器を活用する ・個に応じた学習器具等の準備を行う など ◆ 生徒が学びを自己調整する活動を設ける ・学習課題や学習方法を選択できるようにする ・自分の考えや学習方法について、他者と交流したり、振り返ったりする場面を設定する など ◆ 他者と協力して活動する場を設定する ・自分の考えを表現したり、他の人の話を聞いたりする場面を設定する など
まとめ	残り 1 0 分	5 本時の振り返り（解決までの思考過程や学習成果の確認）	5 学びの整理 を貼り、学習成果を確認 ○今日の学習を通して身に付いた力や他者との交流の中で気付いたことについて生徒が実感できるよう、学びの振り返りの時間を確保する。
	あと 3 0 秒	6 次の課題と家庭学習内容の確認 7 さわやかな声で「終わりの挨拶」 「あのうさぎ」の あ：相手を見て 「あのうさぎ」の の：伸ばした背筋	6 次の課題 を貼り、次の課題と家庭学習の確認 7 終了時刻 30 秒前に「終わりましょう」
家庭学習	学年別の 最低学習 時間	8 家庭学習に真剣に取り組む ※ 学年 最低学習時間 （部活動のない日） 1 年生 7 0 分 （9 0 分） 2 年生 8 0 分 （1 2 0 分） 3 年生 9 0 分 （1 8 0 分）	8 家庭学習への意欲向上・動機付け ・生徒の疑問や関心を生かした家庭学習課題の設定 ・次の課題との関連性の明確化 ・家庭学習の重要性の周知
		9 終了後、明日の準備を確認 1 0 家庭学習課題（宿題）提出	9 授業や帰りの会での準備物の周知 1 0 家庭学習課題（宿題）の取組状況を授業の中で確認